SCB
海外
TOPICS

vol.5（2023.12.4）

訪日インバウンドにおけるシンガポール市場

信金中央金庫 海外業務推進部
SHINKIN CENTRAL BANK
International Business Division

本レポートでは、信金中金グループの海外駐在員・出向者等が最新のトピックスについて報告します。
今回は「訪日インバウンドにおけるシンガポール市場」をテーマに訪日シンガポール人の特徴および訪日シンガポール人が求めるものについてお伝えします。日本はシンガポール人が最も訪問したい国であり、訪日リピーターも非常に多いことから、インバウンド需要獲得の参考にご活用下さい。

1. 訪日シンガポール人の特徴

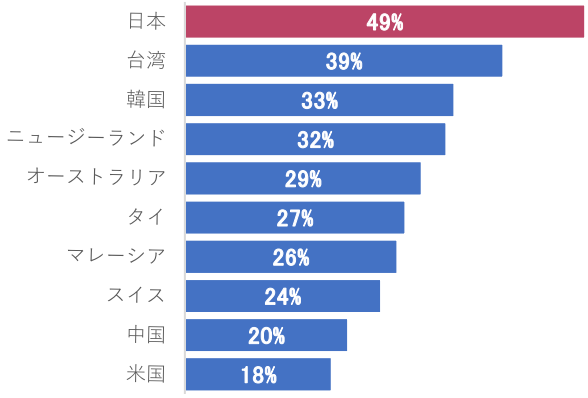
（1） 高い訪日意欲と日本人気

日本はシンガポール人にとって非常に人気がある旅行先です。日本政府観光局（JNTO）の調査によると、シンガポール人の約 75%が訪日経験者であり、50%以上が訪日リピーター、約 40%が 4 回以上日本を訪問しています。2023年1～10月の訪日シンガポール人は約 39 万人と新型コロナ感染拡大前（2019 年1～10月：約 33 万人）よりも増加しています。なお、英国調査会社 Yougov が 2022 年にシンガポール人を対象に行ったアンケート調査「旅行で訪問したい国」では、日本が台湾、韓国、オーストラリアなどを抑えてトップという結果になっています（図表 1 参照）。

（2） 12 月が訪日旅行のピーク

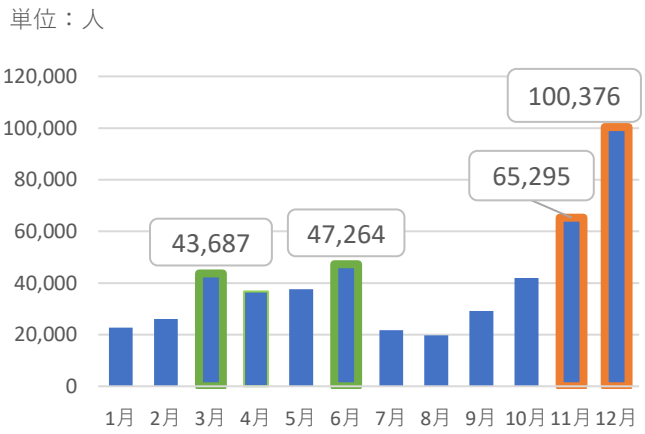
2019年訪日シンガポール人の月別推移では、12 月の訪日者数は約 10 万人と最も多くなっています（図表 2 参照）。シンガポールでは11月中旬～12月が最長のスクールホリデー期間であることから、多くのシンガポール人が 11 月および 12 月に旅行に出かけます。さらに桜が開花する3月、スクールホリデーの 6 月も訪日観光客数が増加する傾向があります。

［図表 1］シンガポール人が旅行で訪問したい国



出所：Yougov 2022 年 8 月 10 日付 Survey より作成

［図表 2］2019 年シンガポール人の月別訪日者数



出所：JNTO「訪日外客統計」より作成

（3）旅行支出額の高さ

訪日シンガポール人の特徴として「1人あたりの旅行支出額が大きい」という特徴があります。英国調査会社ユーロインターナショナルによると、シンガポールの世帯月収中央値は約100万円と所得が高いため、訪日シンガポール人の 1 人当たり旅行支出額は約 25 万円と、全国籍平均の約 21 万円を上回っています。また 2019 年と 2023 年の支出を比べると、平均泊数の増加（2019 年：8.8 泊→2023 年：11.9 泊）に伴い各費用の支出が増加しております（図表 3 参照）。

［図表 3］ 訪日シンガポール人1人あたりの支出

円/人	支出合計	宿泊費	飲食費	交通費	娯楽等サービス費	買い物代
2023年	256,496	92,686	57,742	31,520	9,682	64,866
2019年	154,458	63,390	37,228	19,648	2,019	32,172

出所：観光庁「訪日外国人消費動向調査」より作成

（4）東京・大阪・北海道から地方に

シンガポール人が最も訪れている都道府県は東京都で、全体の 50％以上を占めています（国際空港の利用者含む）。次いで大阪府、千葉県、京都府、北海道が続き、観光都市を中心に訪問率が高くなっています。しかし、日本政府・地方自治体等のインバウンド誘致等により、訪日リピーターを中心に少しづつ地方への観光客が増加しており、今後さらなる地方への訪問増が期待されています。

［図表4］ 訪日シンガポール人の都道府県別訪問率

順位	都道府県	訪問率 (%)
1位	東京都	53.8 %
2位	大阪府	39.6 %
3位	千葉県	37.0 %
4位	京都府	29.4 %
5位	北海道	14.9 %

出所：観光庁訪日外国人消費動向調査（2019年）より作成

（5）旅行口コミサイト・SNS が主な情報収集ツール

2019 年に観光庁が行った調査によると、シンガポール人は口コミサイト（36.4％）、SNS（20.0%）、動画サイト（19.7%）を主要ツールに旅行情報を収集しています。特に他国と比較しても口コミサイトで情報を収集する割合が多く、人気観光地に加え、地域の方と交流できる場所、穴場スポットなど観光ブックには掲載されていない情報を求める傾向があります。また、シンガポール人の SNS 利用者数は Facebook、Instagram、TikTok の順に多く、SNS での日本の美しい風景、日本料理などの魅力的な写真は、次の旅行先を決める大きな決め手になっています。

参考：シンガポール人の利用が多い口コミ・観光情報サイト

- Reddit：https://www.reddit.com/r/JapanTravel/
- HardwareZone： https://forums.hardwarezone.com.sg/forums/japan.271/
- Japan Guide：https://www.japan-guide.com/
- Tokyo Cheapo：https://tokyocheapo.com/

2. 訪日旅行でシンガポール人が求めるもの

（1） 本物の日本料理を求めて

シンガポールにおいて日本料理は非常に浸透しており、現在シンガポールには 1,200 以上の日本食レストランがあります。日本料理はローカル料理に次ぐレストラン数を誇り、多数の日系チェーン店や高級和食店がシンガポールに進出しております。このためシンガポール人は日本料理に親しみがあるものの、日本食の種類は寿司、ラーメン、トンカツ、鰻など限定的でありクオリティも店による差が大きく、“本場の新鮮な日本料理を食べたい”との理由で来日する旅行客も多いです。また、物価が非常に高いシンガポールでは（ラーメン一杯 2,000 円以上）、円安の影響も相まって日本の食事が“安くてとても美味しい”という声が多く聞こえてきます。その他、シンガポールは国土が狭いことから、シンガポール人にとって日本の各地で郷土料理や地酒を楽しめることは新鮮で人気の観光プランとなっております。

（2） 日本の自然・四季が魅力

シンガポールの国土は東西約 42km、南北約 22km と狭く、地形もなだらかであることから、自然が作り出す大きな山や川がありません。このため、シンガポール人にとって日本各地の豊かな自然は非常に魅力的で、雄大な景色を楽しめるハイキング・トレッキング、観光列車などは人気の観光体験となっております。また、赤道直下のシンガポールは常夏であるため、シンガポール人にとって日本の四季は魅力に感じ、桜の観賞・紅葉狩り、雪景色などは大人気です。中でも、雪を見ることは新鮮であり、シンガポールの衣料品店では年末にかけて冬服やダウンジャケットが多数販売されており、多くの方が旅行先で冬を楽しんでいることが伺えます。

（3） 日本の伝統・文化を体験することが人気

シンガポールは建国 58 年と新しい国家であるため、シンガポール人は日本の伝統や文化を知ることに非常に興味があります。例えば茶道、華道などの伝統文化の体験に加え、日本酒の酒蔵見学・そば打ち体験などは人気の観光プログラムとなっております。また、一部のコアなシンガポール人は、日本の神社仏閣を訪れたり、伝統芸能である歌舞伎や能の鑑賞も行っております。その他、シンガポールでは日本のアニメ文化が広く浸透していることから、多くのシンガポール人がアニメファンであり、聖地巡礼やコミックマーケットに訪れる方もいます。なお、シンガポールではコスプレイベントが頻繁に開催されており、週末には日本のアニメキャラに扮したシンガポール人のコスプレイヤーもよく目にします。

（4） シンガポール人の誘致には英語対応がキーポイント

シンガポール人が訪日旅行を難しいと感じる点としては、“言語の壁”（英語対応が不十分）がよく挙げられます。シンガポール人は共通語である英語をネイティブレベルで話すことができるものの、日本では英語表記および英語対応できる方が少なく、コミュニケーション等にストレスを感じる場面が多い様です。特に観光地以外では、シンガポール人が道を尋ねたり、レストランで注文をすることも難しいことがあり、英語対応の態勢整備が期待されています。また、訪日シンガポール人の 9 割が個人旅行者であることから、公共交通機関を利用する機会もあるものの、様々な路線が絡み合う日本の公共交通機関を利用することは難しく、現地の方のサポートや英語表記の増加が必要な状況にあります。

3. おわりに

シンガポール人の日本に対する関心は非常に高く、訪日リピーターが多いシンガポールは、インバウンド需要獲得において重要な国となっております。信金中央金庫の100%子会社である信金シンガポール株式会社では、信用金庫および信金中央金庫と密に連携し、インバウンド促進に向けて信用金庫お取引先様のご支援をさせて頂いております。シンガポールのインバウンド関連に関してご照会等がございましたら、お気軽に信金中央金庫および信金シンガポール株式会社までご連絡下さいませ。

執筆者：信金シンガポール株式会社　赤尾、栗原、Hong Wei
shinkin@shinkin.com.sg

【インバウンドイベント「Japan Travel Fair 2023」について】

信金シンガポール株式会社では、日本政府観光局が主催する訪日インバウンドイベント「Japan Travel Fair 2023」にパートナー企業として参画し、信用金庫取引先の10都道府県10銘柄の日本酒を提供しました。会場の様子やシンガポールの訪日旅行市場および日本酒市場の動向をまとめた動画についても是非ご視聴※ください。

（Japan Travel Fair2023会場の様子）

内容	URL（YouTube）	二次元コード
Japan Travel Fair 2023 ～インバウンド需要の拡大および販路開拓について～	https://youtu.be/OQtRVLIe3Xc	

※ YouTubeによる視聴で利用料金は発生しませんが、You Tube視聴時に通信料が発生した場合、視聴者のご負担となりますのでご留意ください。

以　上

〈編集・発行〉
信金中央金庫　海外業務推進部　企画グループ
東京都中央区八重洲1丁目3番7号
Tel: 03(5202)7703
E-mail:　s1000860@facetoface.ne.jp

〈信用金庫使用欄〉

本レポートは、標記時点における情報提供を目的としています。したがって投資等についてはご自身の判断によってください。また、本レポート掲載資料は、信金中央金庫、信金シンガポール㈱が信頼できると考える各種データにもとづき作成していますが、信金中央金庫、信金シンガポール㈱が正確性および完全性を保証するものではありません。なお、記述されている予測または執筆者の見解は、予告なしに変更することがありますのでご注意ください。